
2020年2月期第3四半期決算

<参考資料>

2019年 12月26日

くらしの「あたらしい幸せ」を発明する。



J. FRONT RETAILING

2019年度3Q 連結業績(IFRS)

- ▶ 百貨店事業を除くパルコ事業、不動産事業、クレジット金融事業、その他が増収
- ▶ 増収による売上総利益増に加え、百貨店事業での販管費大幅減により大幅増益
- ▶ 増税後トップライン回復が想定より緩やかも、対策含め10月予想値を据置き

(単位:百万円、%)

2020年2月期	3Q (9-11月累計)			3Q累計 (3-11月累計)		
	実績	対前年		実績	対前年	
		増減高	増減率		増減高	増減率
総額売上高	294,558	27,989	10.5	840,400	26,721	3.3
売上収益	136,102	29,701	27.9	361,767	28,159	8.4
売上総利益	50,454	358	0.7	155,113	66	0.0
販売管理費	36,588	△4,155	△10.2	117,503	△3,919	△3.2
事業利益	13,866	4,513	48.2	37,610	3,985	11.9
その他の営業収益	3,595	2,737	318.8	7,692	5,180	206.2
その他の営業費用	5,593	5,017	870.5	8,259	5,975	261.6
営業利益	11,867	2,232	23.2	37,042	3,189	9.4
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	6,629	462	7.5	20,997	△1,080	△4.9

- ▶ 百貨店事業は経費圧縮で事業利益大幅増益も、北館除却損等計上で営業減益
- ▶ パルコ事業は渋谷パルコ保留床売却で大幅増収、再開発補償金等で営業大幅増益
- ▶ 不動産事業は増収も、心齋橋店北館の不動産への移管に伴う費用増等で減益
- ▶ その他は建装事業のJ.フロント建装による心齋橋店改装工事での大幅増が牽引

(単位:百万円、%)

2020年2月期 3Q(9-11月累計)	事業利益			営業利益		
	実績	対前年		実績	対前年	
		増減高	増減率		増減高	増減率
百貨店事業	8,193	4,121	101.2	3,452	△521	△13.1
パルコ事業	2,082	172	9.0	4,264	1,832	75.3
不動産事業	1,572	△87	△5.2	1,460	△170	△10.5
クレジット金融事業	809	△82	△9.2	816	△77	△8.6
その他	1,759	1,117	173.8	2,209	1,682	319.3
合計	13,866	4,513	48.2	11,867	2,232	23.2

- ▶ 百貨店売上高は9月消費増税前駆け込みも、10月、11月とも反動減で苦戦
- ▶ 不動産はGINZA SIX、上野FT堅調、新規物件、周辺店舗移管も加わり増収
- ▶ 事業利益は百貨店が販管費減で大幅増益、不動産事業は北館移管に伴う費用増等で減益

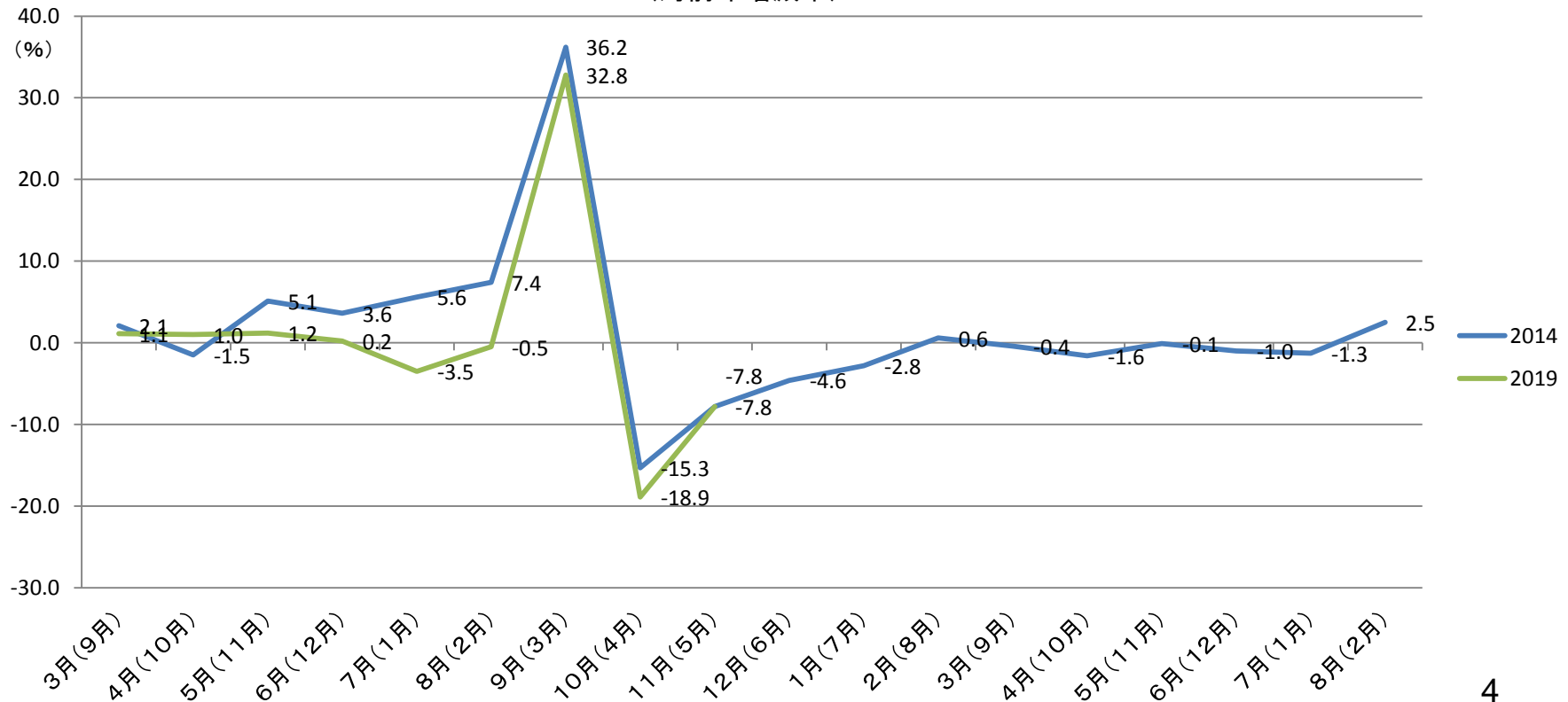
(単位: 百万円、%)

2020年2月期 3Q(9-11月累計)	百貨店事業			不動産事業			大丸松坂屋百貨店合計		
	実績	対前年		実績	対前年		実績	対前年	
		増減高	増減率		増減高	増減率		増減高	増減率
総額売上高	153,154	△1,678	△1.1	4,441	113	2.6	157,534	△1,567	△1.0
売上収益	55,148	△270	△0.5	4,446	165	3.8	59,533	△106	△0.2
売上総利益	33,220	△298	△0.9	2,149	△59	△2.7	35,308	△359	△1.0
販売管理費	25,234	△4,737	△15.8	576	27	5.0	25,750	△4,710	△15.5
事業利益	7,985	4,438	125.1	1,572	△87	△5.2	9,558	4,352	83.6
その他の営業収益	219	173	368.2	875	783	844.4	1,095	956	684.4
その他の営業費用	4,878	4,745	-	988	867	713.8	5,866	5,612	-
営業利益	3,327	△133	△3.9	1,460	△170	△10.5	4,787	△304	△6.0

百貨店既存店売上動向 (2014年増税前後との比較)

- ▶ 消費増税前9月の駆け込み消費は高額品を中心に前回並みの3割以上増
- ▶ 増税直後10月の反動減は台風影響(△2.3ポイント)を考慮すれば前回並み
- ▶ 12月以降のさらなる改善を期待するも国内ボリューム層の回復遅れが懸念材料

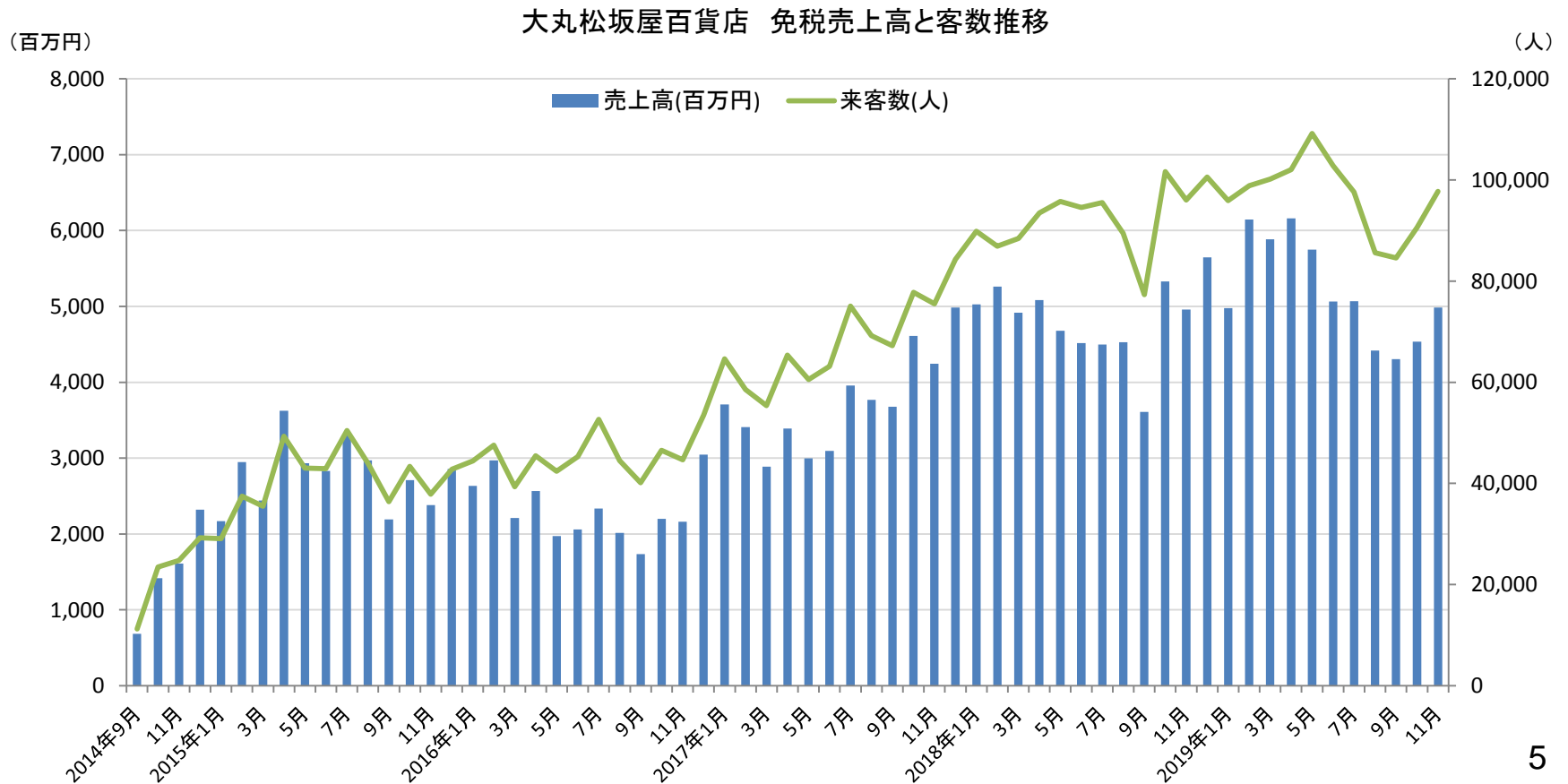
消費増税前後の大丸松坂屋百貨店(既存店)月次推移
(対前年増減率)



※()は2014年

2019年度3Q(9-11月累計) インバウンド状況

- ▶ 免税売上は3Q(9-11月度累計)で138億円、 $\Delta 0.5\%$ とわずかに前年割れ
- ▶ 売上シェアは前年並みの9.0%。客数は $\Delta 0.7\%$ 、客単価は $+0.2\%$ とほぼ横ばい
- ▶ 化粧品を中心とする消耗品売上 $+0.7\%$ 、一般品売上 $\Delta 2.1\%$



※総額売上高ベース

2019年度3Q(9-11月累計)大丸松坂屋百貨店 SG&A、その他の営業収益・その他の営業費用

▶ 販管費では主に人事関連制度変更に伴う人件費の圧縮などが事業利益の増益に寄与

項目	2019年 3Q実績 (百万円)	対前年 増減 (百万円)	主な増減要因
人件費	2,160	△4,280	退職給付費用(転籍一時金、セカンドライフ支援年金廃止△4,128など)
広告宣伝費	2,964	418	心齋橋店開業販促、アプリ、新顧客戦略など
賃借料	58	△4,204	主にIFRS16号影響
減価償却費	5,849	3,483	主にIFRS16号影響
作業費	3,023	253	電算費+191など
販管費合計	25,750	△4,710	

▶ その他の損益では人事関連制度変更や心齋橋店北館工事に伴う一過性費用が増加

「その他の営業収益」 主な内容	2019年 3Q実績 (百万円)
不動産事業受取補償金	666

「その他の営業費用」 主な内容	2019年 3Q実績 (百万円)
固定資産除却損・処分損(心齋橋店北館など)	2,241
選択定年拡大措置	994
退職給付制度改定	870
心齋橋駅地下鉄通路整備負担金	966
心齋橋店北館一部解体工事費	536

Website

<https://www.j-front-retailing.com>

くらしの
「あたらしい幸せ」を
発明する。



J. FRONT RETAILING

本資料における業績予測や将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。